

カリキュラムシート

分類番号

A502-180-3

| 訓練分野 | 電気・電子系 | 訓練コース | 製造データのシステム化技術 | |
|-------------|---|-------|---------------|-----------------|
| 訓練対象者 | 生産計画や製造現場で発生する情報を管理する業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者 | | | |
| 訓練目標 | 生産現場における生産活動全般の効率化をめざして、生産計画や製造指示、作業実績等のデータをシステム化、一元化するための、生産データの収集方法・システム化技術について習得する。 | | | |
| 教科の細目 | 内 容 | | 訓練時間 (H) | うち実習・まとめ (H) |
| 1. 製造データとは | (1) 生産データ イ. 生産計画データ ロ. 生産指示データ ハ. 生産実績データ ニ. 在庫データ (2) 生産データの構造 イ. テキストデータ・バイナリデータ ロ. 時系列データ ハ. データの関連 | | 1.0 | |
| 2. 製造データの収集 | (1) 生産現場からのデータ収集 イ. RS232Cによる収集 ロ. LAN(TCP/IP、無線)による収集 | | 3.0 | 3.0 |
| 3. システム化の手順 | (1) システム化に必要なデータの洗い出し方法 (2) データの整理と属性の定義方法 (3) データの関連の定義方法 (4) スキーマ定義の実装方法 (5) データストアへのデータの格納方法 | | 4.0 | 2.0 |
| 4. 総合実習 | (1) RS232C及びLANを用いたデータ収集 (2) スキーマ定義の作成 (3) スキーマ定義の実装 (4) データの変換及びデータストアへの格納 | | 9.0 | 9.0 |
| 5. まとめ | (1) 実習の全体的な講評及び確認・評価 | | 1.0 | 1.0 |
| | | | 訓練時間合計 | 18.0 |
| | | | | 15.0 |
| 使用器具等 | パソコン、プログラム開発環境、データベース・ソフト、現場で用いる端末等 | | | |
| 養成する能力 | 生産性の向上を実現できる能力 | | | |